

ミルクサイエンス研究助成の採択について

2026年度は、以下の5題への研究に助成を行うことに決定いたしました。

-
- 1 安田女子大学・塩田 誠
質量分析イメージングによる白カビチーズの機能性成分の挙動解析

 - 2 北海道大学・玖村 朗人
プロテアーゼ組成の異なる麴を活用したランシッド抑制型チーズ製造の基盤構築

 - 3 山形大学・野澤 恵理花
乳加工の理論化と乳製品の品質保証へ向けた複雑系シミュレーションアプローチ

 - 4 信州大学・村上 愛斗
A2ミルクが乳房炎原因菌の生育に与える影響に関する研究

 - 5 日本獣医生命科学大学・三浦 孝之
乳糖を部分分解したブラウンチーズの品質について
-

今回は過去最多の応募数となりましたので各応募課題に対する評価差をつけることに困難を極めました。酪農産業や乳製品加工業への全般的な貢献が見込めること、日本酪農科学会の主旨にふさわしい課題であることを目的とした本助成事業は、今後も継続して実施する予定です。

令和8年3月

日本酪農科学会 会長 向井 孝夫